

## 「平成25年度学校自己評価について」

学校法人 向洋学園  
宮崎ブライダル&医療専門学校  
校長 井手脇 道子

専修学校の学校評価につきましては、平成19年に学校教育法、及び学校教育法施行規則の改正により、自己評価・学校関係者評価の実施・公表、評価結果の設置者への報告に関する規定が新たに設けられました。

それに伴い、本校では、従来実施しておりました、授業アンケートのみならず、学校自己評価に取り組み、自己点検を行なうことで、教育水準の向上と質の保証に更に努めるよう工夫を致しております。

ここに、平成25年度の本評価結果を公表いたしますが、今後は、評価を充分に加味し、検討をしながら、より良い教育の場であることを目指し、改善を進めて参ります。

## 1. 学校理念

「全ての学生の夢を受けとめ、高い技術力と、豊かな人間性を備えたプロフェッショナルを育成し、社会に貢献する。」

## 2. 宮崎ブライダル&医療専門学校校訓

誠 実 な 人  
努 力 す る 人  
思 い や り の あ る 人

## 3. 学校の教育目標

1. 学校の夢を具現化するため、教育に携わる教職員一同は常に精進に努め、また、学校はその為の研修等を計画的に行う。
2. 高い技術力を習得させるため、関連業界との連携を深めながら、定期的に技術力の確認を行う教育プログラムを実践する。
3. プロフェッショナルとしての心を育成する為、キャリア教育の充実を図る。
4. 豊かな人間性の構築を目指し、校外での体験、教育の場を設ける。

## 4. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1. 学校の理念、校訓、教育目標が全職員及び学生に認知され、日常の教育に反映させる方策の実施。
2. 学生の安全な学校生活を保証するための行動目標の徹底。
3. 現代社会のニーズに即したカリキュラム編成と、その実施。

## 5. 評価項目の達成及び取組状況

### (1) 教育理念目的・人材育成像

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	学校の教育理念・目的が設定されている	A
②	学校の教育理念・目的が周知徹底されているまたは、明文化している	A
③	学校が目指す人材育成像が設定されている	A
④	学校が目指す人材育成像が周知徹底されている、または、明文化している	<b>A</b>
⑤	各学校の目的にあわせた特色が実践している教育に現れている	A
⑥	時代のニーズに合わせ、理念・目的・育成像の再考システムが構築されているか	<b>A</b>

#### [課題]

・全項目に対し、高い評価を得ている。特に、『④学校が目指す人材育成像は周知徹底されている、または明文化している』と、『⑥時代のニーズに合わせ、理念・目的・育成像の再考システムが構築されているか』の2項目については、昨年度評価を上回った。

#### [今後の改善方策]

・職員間では、アンケート項目に関する共通認識を得ているが、学生への周知徹底を図りたい。

### (2) 学校運営・・・諸規定の制定、学則・細則・内規等の整備、防犯対策、個人情報の保護、意思決定機関

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	学校運営の方針が明確に明示されているか	A
②	学校運営方針に沿った各種規定が整備されているか	<b>A</b>
③	学校の意思決定機関が効率的なものであるか	B
④	人材の活用と適切な待遇への整備がされているか	<b>A</b>
⑤	学生及び職員の個人情報について、個人情報保護法を遵守しているか	A
⑥	災害や人災に対し、防犯や予防の対策が制定され、実施しているか	<b>A</b>

#### [課題]

『③学校の意思決定機関が効率的なものであるか』について B 判定が出ている。意思決定の明確化を図り、全職員の理解を得た学校運営の方法を模索すべきである。

#### [今後の改善方策]

- ・学校運営のための意思決定はトップダウン方式になりやすい面があるため、これまで以上に、ボトムアップでの意見集約のシステムを構築し、職員一丸となって学校発展を目指したい。
- ・特に防犯や個人情報の取り扱いについては予防、対策を検討していく。
- ・災害については、定期的に防災訓練を繰り返していきたい。

(3) 教育活動・・・理念・目的・人材像を反映、したカリキュラム、カリキュラムの定期的見直し、  
キャリア教育、授業アンケート、授業計画、成績評価・単位認定、資格試験、教職員

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	学校の教育理念・目的・目指す人材像を達成する為のカリキュラムが組まれているか。	A
②	学生の実態に合わせ、定期的カリキュラムの見直しが行われているか	A
③	キャリア教育の視点にたったカリキュラムが組まれているか	A
④	関連分野に於ける実践的な職業教育（インターンシップや実習）が体系的に位置づけられているか	A
⑤	授業評価の実施・評価体制が整っているか	A
⑥	授業評価がよりよい授業構成のために役立たされているか	B
⑦	中・長期的視野に立ち、授業計画がなされているか	A
⑧	授業計画が明文化され、記録されているか	A
⑨	成績評価・単位認定は学則・細則・内規に準拠したものになっているか	A
⑩	資格取得の指導体制はあるか	A
⑪	教員の指導能力の向上に対し、方策を採っているか	B

[課題]

- 『⑤授業評価がより良い授業構成のために役立たされているか』については、職員自身が、学生からのアンケートを活用している実感や自覚の不足が考えられる。
- 『⑪教員の指導能力の向上に対し、方策を採っているか』については、校内での研修や、講師を招いての研修を実施しているものの、より多くその機会を得たいという職員の要望に応えるものではないことが現れていると考えられる。

[今後の改善方策]

- 『⑤授業評価がより良い授業構成のために役立たされているか』については、学生からのアンケート結果を反映させることを徹底していきたい。また、今後は授業評価アンケートも実施回数を増やすことで、授業内容や方式の再考の機会を得たい。
- 『⑪教員の指導能力の向上に対し、方策を採っているか』については、段階的に研修の機会を増やすと同時に、職員自身が成長の必要性を感じられる情報提供を徹底したい。

(4) 学修成果・・・就職率・推移、資格取得率・推移、退学率の低減

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	就職率の向上が図られているか	A
②	資格取得率の向上が図られているか	A
③	退学率の低減が図られているか	A
④	入退学者数とその推移を把握しているか	A

[課題]

- 資格取得率の向上は図られているが、合格率を上げていく手段を検討する必要がある。
- 退学者を出さない学生指導のあり方を考えていく必要がある。

**[今後の改善方策]**

- ・就職指導や生活指導など学生に対する指導においては、全職員が情報の共有などを通して連携し、協力して指導していく。
- ・各職員が、自己の担当する検定試験の合格率に対して、数値的な目標を持ち、それを達成する指導について検討していく。
- ・退学者や不登校者を出さないよう、カウンセリングマインドで職員が学生に接する。将来的には、スクールカウンセラーの資格修得者などの協力を得られるような体制を作る。

(5) 学生支援・・・進路・就職への支援、学生相談への支援、学生への経済的支援、保護者との適切な連携、卒業生への支援体制

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	進路・就職指導に関する体制が整備され、機能しているか	A
②	学生相談に関する体制が整備され、機能しているか	<b>A</b>
③	学生への経済的側面を支援する体制が整備され、機能しているか	A
④	保護者との適切な連携を図る機会が設けてあるか	A
⑤	卒業生への支援体制はあるか	B

**[課題]**

- ・『②学生相談に関する体制が整備され、機能しているか』に関しては昨年度より評価は上がっているが、専門的には対応していない。今後は、専門的な対応が必要なのではないか。
- ・卒業生への再就職サポートとして、求人情報の提供を中心にさらに検討していく必要がある。

**[今後の改善方策]**

- ・上記の項目内での在学生の支援については、担任を中心に全職員で問題の対応にあたっている。今後は、専門的な支援が必要かを見極めながら対策していきたい。
- ・卒業生の支援については、ホームページに卒業生の再就職支援ページを作成して情報を提供することを検討していく。

(6) 教育環境・・・教育施設・設備、学内外の実習・インターンシップ、危機管理

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	教育上の必要性に充分対応できる教育施設であるか	A
②	IT 機器などの教育用設備が教育上の必要性に充分対応できるか	<b>A</b>
③	学外実習やインターンを支援する体制が整っているか	A
④	危機管理や防災についての体制や対策を周知しているか	<b>A</b>

**[課題]**

- ・全ての項目に関し高い判定を得ている。今後は、実習体制や、学内の IT 機器の充実を図りたい。

**[今後の改善方策]**

- ・ハードの充実だけでなく、危機管理や防災などのソフト面への対応を進める。
- ・危機管理の一環として AED を設置した。定期的に職員と学生対象の救命救急講座を行いたい。

## (7) 生徒募集・・・生徒募集活動の適正性、教育成果の伝達、入学選考、学納金

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	生徒募集活動は適正に行われているか	A
②	就職率や資格取得率など、教育成果の情報提供が適切に行われているか	A
③	入学選考は適正かつ、公平な基準に基づいているか	A
④	学生納付金は妥当なものとなっているか	A

## 【課題】

- ・各項目、前年度並、もしくは改善されている。

## 【今後の改善方策】

- ・職業実践専門課程認定校としても、各種情報の提供を遺憾無く行っていきたい。

## (8) 社会貢献／地域貢献・・・社会貢献、公開授業・出張講座、ボランティア活動

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	学校の教育資源などを有効活用した社会貢献を行っているか	A
②	地域や、高校、中学などを対象に公開授業や出張講座を行っているか	A
③	学生のボランティア活動を奨励、支援する体制が整っているか	A

## 【課題】

- ・、「地域や、高校、中学などを対象に公開授業や出張講座を行っているか」については、様々な社会・地域貢献に取り組んでいる。
- ・『①学校の教育資源などを有効活用した社会貢献を行っているか』、『③学生のボランティア活動を奨励、支援する体制が整っているか』については、より良い方策をとっていく必要がある。

## 【今後の改善方策】

- ・『①地域や教育資源などを有効活用した社会貢献を行っているか』に関しては、学校の教育内容を反映させながら、社会に貢献できるプログラムを提案していきたい。
- ・『③学生のボランティア活動を奨励、支援する態勢が整っているか』については、担当職員が実施計画を立案中であります。

## (9) 財務・・・財務状況、監査、財務状況の情報公開

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	A
②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	<b>A</b>
③	財務についての会計監査が適正に行われているか	A
④	財務情報公開の体制整備はできているか	<b>A</b>

**[課題]**

・各項目、前年度より改善されており、取り組みは評価されている。

**[今後の改善方策]**

・今後も問題なく評価されるように情報公開等、わかりやすい公開を行っていく。

(10) 法令等の遵守・・・法令遵守の状況、適切な学校評価への取り組み

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A
③	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	<b>A</b>
④	自己評価の結果を公表しているか	<b>A</b>

**[課題]**

・各項目、前年度より改善されており、取り組みは評価されている。

**[今後の改善方策]**

・今後も問題なく評価されるように取り組んでいく。特に個人情報については常に保護対策を検討していく。